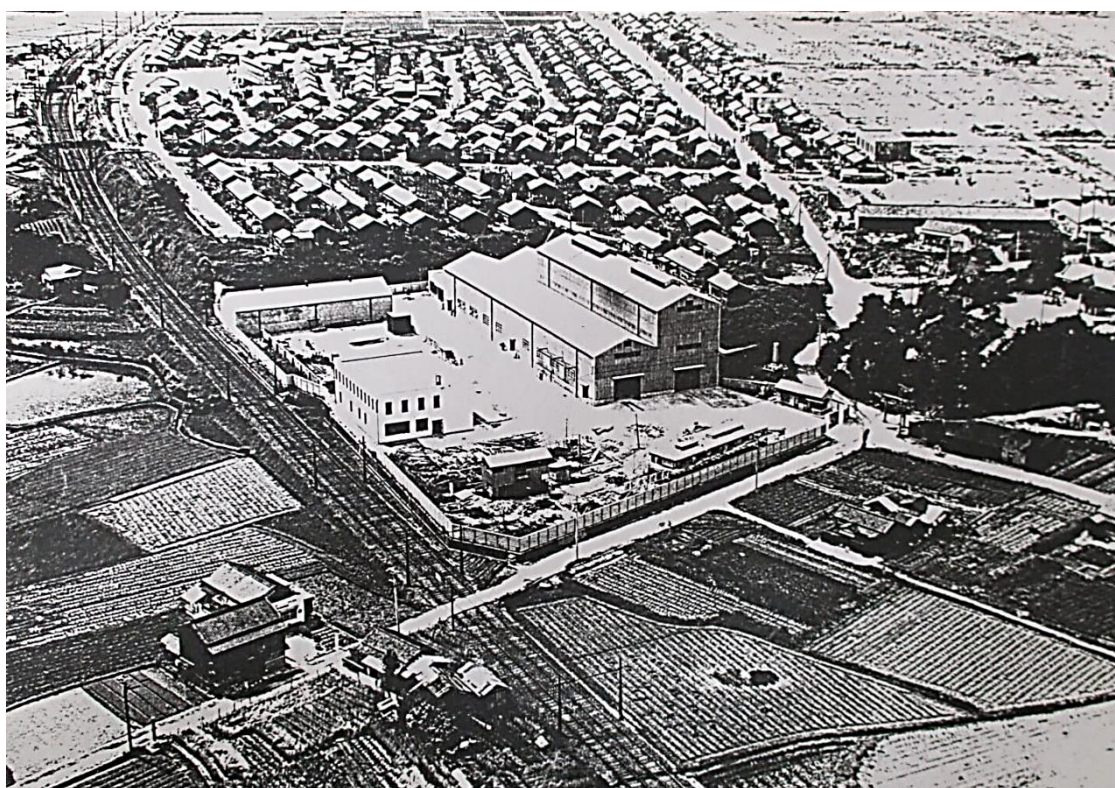


貴崎のまちの成り立ち

明治22年頃、林崎村という地名だったこの辺りですが、戦後から昭和45年の第3次住居表示実施までは「成願寺」「宮の上」と呼ばれていました。当時の成願寺、宮の上は川崎航空機工場（現川崎重工業）跡地の荒地と畑地が広がり、土質も粘土層で歩行も困難な環境の悪い土地だったようです。

昭和25年頃からは県・市営住宅が建ち始め、工場も誘致され、畑であったところに民家が次々と建てられていきました。相前後して、宮の上では公団住宅の建設が始まりました。年も出身地も違う人々が伝統のない地区に寄り合い、近郊の町や村になって自分たちの“ふるさと”を創ろうとお互いに努力され、今日のように住みよい町として発展していきました。

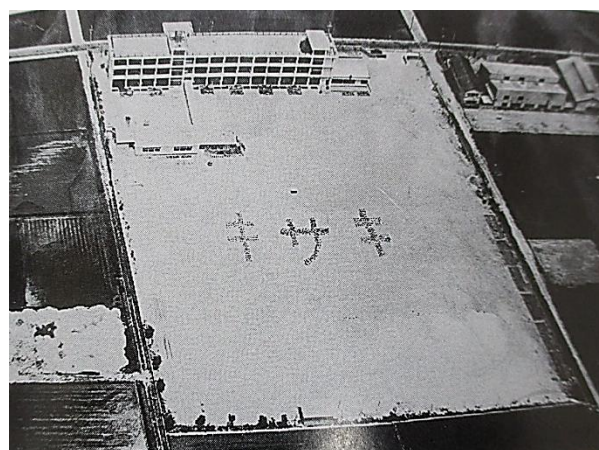


昭和26年ごろの成願寺（現貴崎）町

貴崎小学校の歴史



ここ貴崎小学校区は、花園小学校（西明石）の分校として建設された小学校がありましたが、近隣の児童数の増加に伴い昭和41年（1966年）に花園小学校と林小学校の両校より児童を受け入れ、4月1日に全校児童数483名で貴崎小学校として開校されました。同年6月1日に開校記念式典が開かれ、この日が現在の創立記念日となっています。



創立当時の校舎・校庭